

チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ(Bt11(mcrylab, pat. Zea, mays subsp. mays (L.)Itis)
(Bt11, OECD UI:SYN-BT011-1))の生物多様性影響評価試験
(栽培実験期間:平成18年度)

確認項目		確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について	本栽培実験では、開花前に栽培を終了しています。開花前に栽培を終了(平成18年7月24日終了)している事を確認しました。
	○モニタリング措置について	本栽培実験では必要ありません。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について	実験種子以外と区分した管理、袋等での運搬、播種後防鳥網の設置による拡散防止を実施している事を確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について	一部専用機械等を使用している事、また、それ以外の機械等は、実験区画外搬出の際の洗浄による払い落としを実施している事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について	収穫後、収穫物を袋詰めして保管している事を確認しました。今後も引き続き確認の予定です。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について	作物残渣について隔離ほ場内で堆肥化及び搬出の際の袋詰めによる搬出によりこぼれ落ちを防止したことを確認しました。地下部は隔離ほ場内で鋤込みを実施したことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて	栽培終了後、次期作に非組換えダイズの実験栽培を予定していることを確認しました。今後、次期作の取り扱いを確認する予定です。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について	平成18年4月21日に公表された事を確認しました。
	○説明会の開催等について	説明会が平成18年4月28日に開催された事を確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について	説明会の開催等、本実験の経過について11件の情報がホームページに掲載されている事を確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について	栽培、処理終了した旨について、平成19年6月27日にホームページ掲載されていることを確認しました。また、実験結果の概要が平成19年5月21日開催の説明会にて発表したことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備している事を確認しました。	

畜産草地研究所 隔離ほ場(その3)



除草剤施用区跡

チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (Bt11) が植えられていた圃場跡

平成18年10月10日(火)撮影